

ブレードホース 施工要領書

ZL-10 加圧送水装置用可撓管継手・消防庁告示第31号型式認定品

ゼンシン 株式会社

施工手順

1. 作業前の確認

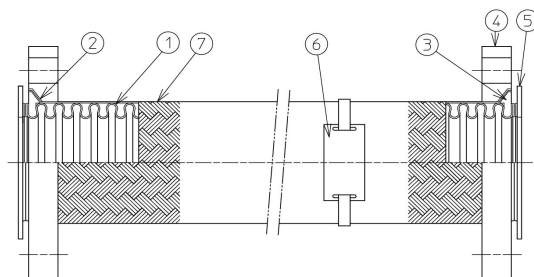


表1. 部品表

| 品番 | 部品名 | 材質 |
|----|---------|-----------------|
| 1 | ヘローズ | SUS316L(SUS316) |
| 2 | 押えリング | SUS304 |
| 3 | 割リング | FCMB |
| 4 | ルーズフランジ | SS400 |
| 5 | ガスケット | ノンアスベスト |
| 6 | 表示板 | A1100P |
| 7 | ブレード | SUS304 |

施工前に次の事項についてご確認下さい。

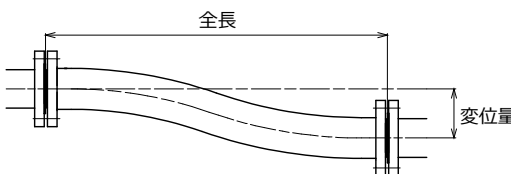
- 口径、長さが適正か
- シール面に損傷が無いか
 - ・200Aまでは予めガスケットをシール面に貼付しておりますので、そのまま取り付けて下さい。

2. 配管への取り付け

- ① ガスケットをシール面からずらさないように、また、シール面を傷つけないよう、製品を配管フランジ間にセットして下さい。

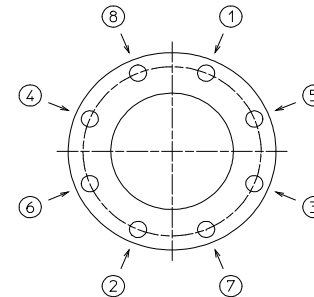
! 接続の際は、当社専用ガスケットを御使用下さい。

- ② 製品側から配管側へ向かって、ボルトを挿入して下さい。
- ③ 実際の配管変位が許容変位量内であることを確認して下さい。



3. ボルトの締め付け

ボルト締め付け順

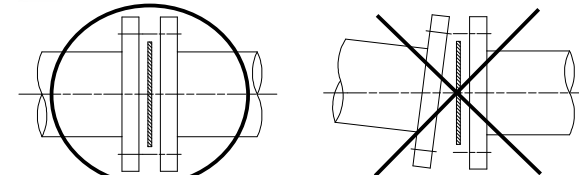


- ① ボルトは対角線に均等に締め付けて下さい

- ② 反対側のフランジも同様に締め付けて下さい

- ③ SUS製ボルト・ナットを使用する場合は、ねじ部に焼付け防止剤を塗布して下さい

! フランジ面が平行である事を確認の上、締め付けて下さい。



! 本製品はチューブ2山を圧着することでシール面を形成しております。ボルトの締め過ぎ・片締めは漏れの原因になりますので左下に示すトルクで締め付けを行って下さい。

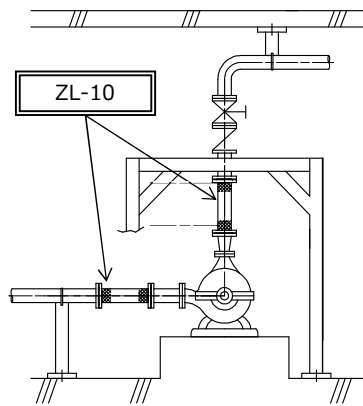
取付ボルト長さ と 締めトルク (推奨値)

| 口径 | 取付ボルト長さ |
|-----------|----------|
| 20A | M12×55mm |
| 25A | M16×60mm |
| 32A~50A | M16×65mm |
| 65A~100A | M16×70mm |
| 125A | M20×75mm |
| 150A~200A | M20×80mm |
| 250A~300A | M22×85mm |

JIS10KF・平座金、ばね座金なしの場合

| 口径 | 締めトルク(N・m) |
|------------|------------|
| 20A ~40A | 50 ~ 80 |
| 50A ~100A | 80 ~ 100 |
| 125A ~150A | 140 ~ 180 |
| 200A ~300A | 160 ~ 200 |

設置例



! 注意事項

- ウォーターハンマーの発生が懸念される配管系では、フレキが損傷する恐れがあります。その様な場合は適切な衝撃防止対策を行って下さい。
- 配管の溶接作業は、フレキ取り付け前に施工して下さい。やむを得ず製品取り付け後に溶接や溶断をする場合は、溶接電流が流れないように、適正なアースをとり、製品に保護カバーを被せて下さい。
- 管内流速（内径基準）が3m/secを超えない様に口径を選定して下さい。
- ガスケットシール面が特殊寸法のため、市販寸法のカスケットでは漏れの危険があります。必ず付属の専用ガスケットをご使用下さい。
- ボルトの締め付けの際には、片締め・締め込み過ぎにならない様に施工願います。
- 製品を取り付ける際、チャッキ弁の上側チャッキ弁の二次側は内径が大きい為、シールできない恐れがあります。チャッキ弁との接続の際は、必ず一次側と接続して下さい。

